



対象：小学4年生～高校3年生の札幌市内に住んでいるか、学校などに通っている方

札幌市では、子どもの視点に立ったまちづくりを進めています。今回は、誰もが笑顔で暮らせるまちのアイデアについて、あなたの意見をぜひ聞かせてください。

◆ テーマ

誰もがつながり合う共生のまちづくりについて

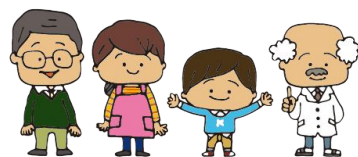
札幌には、障がいのある人・ない人、女の人、男の人、お年寄り、子ども、外国人などいろいろな人が暮らしています。すべての人がお互いの違いを大切にし、支え合い、誰もが生き生きと暮らすことができる社会を「共生社会」といいます。

この共生社会づくりに大切なのが、「ちがっていてもいい」とお互いをそのまま受け入れ、思いやる気持ちや行動である「心のバリアフリー」です。

札幌市では、この共生社会を目指し、みんなが優しくつながるためのルールである「つながるさっぽろ条例」が作られました。



つながるさっぽろ条例



かんがえてみよう！

自分とは考え方がちがう人とも、お互いを認め合って「みんなが笑顔でいられるまち」にするには、どんな工夫や仕組みがあるといいですか。

💡 アイデアをふくらませる3つのステップ

① 身近な「ちがい」を思い出してみよう

→ 「友達と意見が合わない」とき、どうやって話し合えばいいかな？

② 札幌のまちに暮らす人を想像してみよう

→ 札幌には、年齢や言葉、体の状態、考え方のちがう人がたくさんいます。お互いに嫌な気持ちにならずに過ごすには、まちにどんな「やさしさ」や「工夫」があるといいかな？

③ みんなが「安心できる場所がある」と思うまちにするには、どうしたらいいかな？

→ 「こんな場所があったらいいな」「こんなイベントがあったら楽しいな」と自由に考えてみよう。

12月11日までに
アンケートフォームから
意見を送ってね！



https://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/kodomo_ikenbosyu2026.html



みなさんの意見は取りまとめて、市役所からのコメントとあわせて
広報紙でお知らせします！

いけん きにゅう
意見記入シート

す ちいき
お住まいの地域

す く しがい
お住いの区 ()区 ・ 市外

あてはまるものに ○ をつけてね

しょうがくせい とくべつしえんがっこう しょうがくぶ ふく
小学生(特別支援学校の小学部含む)

こうこうせい とくべつしえんがっこう こうとうぶ ふく
高校生(特別支援学校の高等部含む)

た
その他()

ちゅうがくせい とくべつしえんがっこう ちゅうがくぶ ふく
中学生(特別支援学校の中学部含む)

はたら
働いている

)

じゆう
自由にアイデアをかいてね！

【ここに、あなたのかんがえたことやアイデアをじゆうにかいてください】